

第3図 嘉穂地方の古墳時代遺跡の分布





















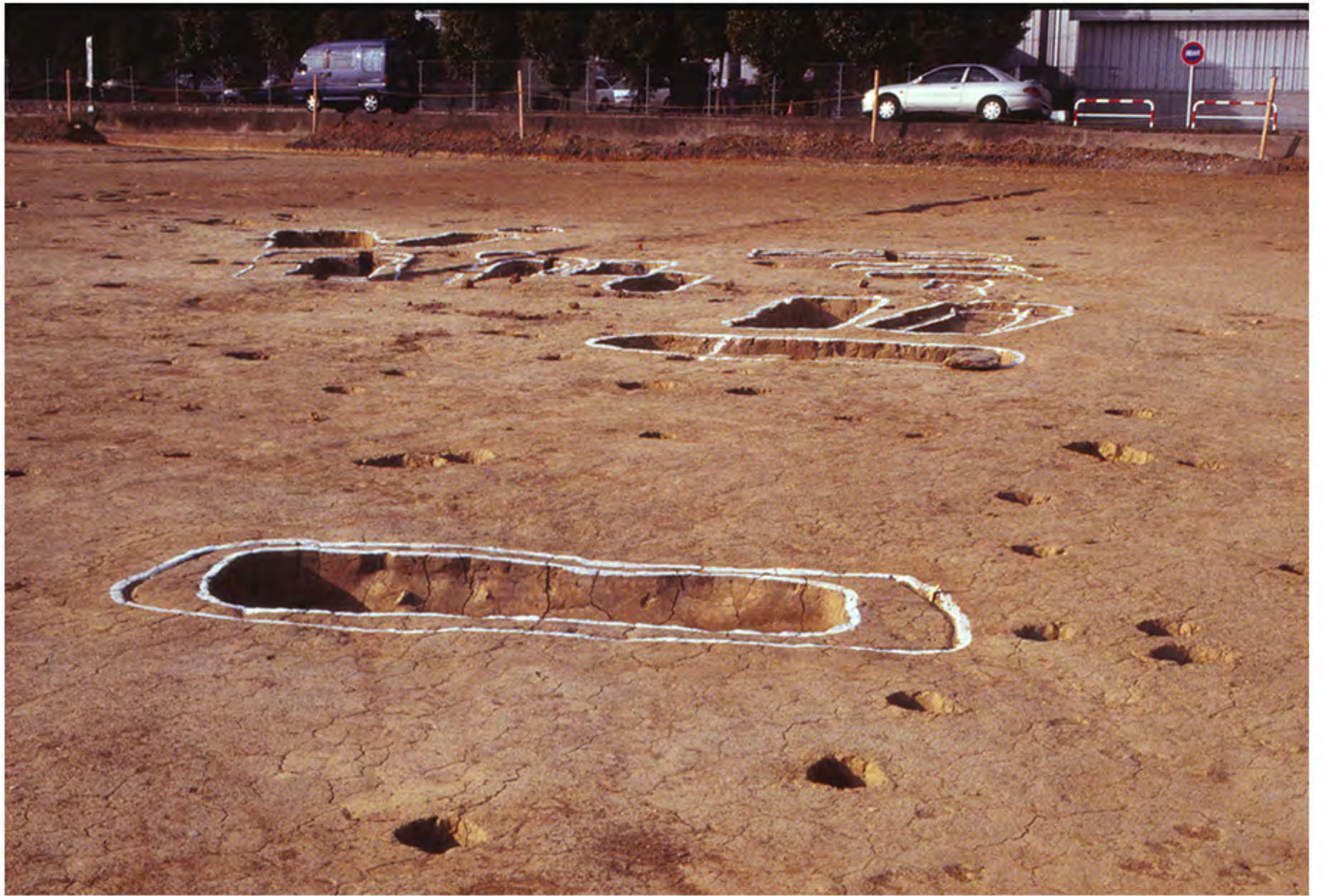


江辻遺跡から出土した土器





大協運輸柏原







197112

KOSHOUJI

国指定史跡

こうしょうじこふん
光正寺古墳

■所在地 福岡県糟屋郡宇美町大字美字坂平4537-11地
■指定年月日 1975年6月26日
■指定面積 1,894㎡

■歴史経緯と特徴

光正寺古墳は、福岡県糟屋郡宇美町大字美字坂平4537-11地に所在する、古墳時代中期の古墳である。この古墳は、1975年6月26日に国指定史跡として指定された。古墳の形状は、墳丘が南北に長く、東西に短い。墳丘の表面は、土壌の色が赤褐色を呈している。古墳の周囲には、石垣が築かれており、墳丘の頂上には、石室が築かれている。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。古墳の築造年代は、古墳時代中期の前期と推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の形状は、墳丘が南北に長く、東西に短い。墳丘の表面は、土壌の色が赤褐色を呈している。古墳の周囲には、石垣が築かれており、墳丘の頂上には、石室が築かれている。石室の内部には、土葬された遺体が発見された。古墳の築造年代は、古墳時代中期の前期と推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。

古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。



古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。

古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。古墳の築造者は、古墳時代中期の前期に活動していた古墳築造者であると推定されている。

'01 1 19











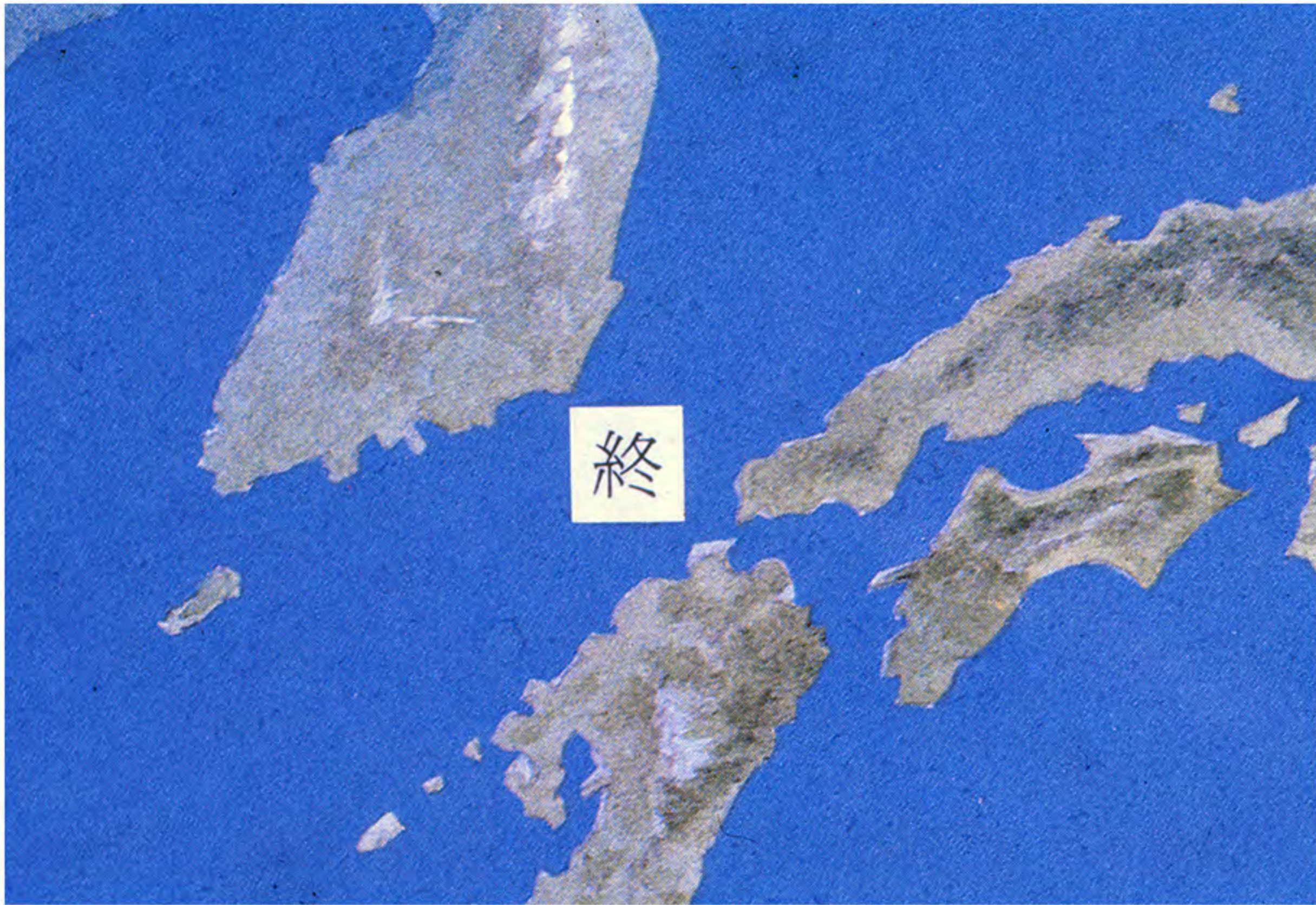
19712 1











終